

News Release

2021年11月17日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

農業・花きの生産・流通改革、付加価値向上、スマート農業化を支援する

展示会・講演会を同時開催

「アグロ・イノベーション2021」「鳥獣対策・ジビエ利活用展」
「草刈り・除草ワールド」「フローラル・イノベーション」開催!

-2021年11月24日(水)~26日(金) 東京ビッグサイト 青海展示棟にて-

一般社団法人日本能率協会（JMA、東京都港区・会長：中村正己）は、2021年11月24日（水）～26日（金）の3日間、東京ビッグサイト 青海展示棟で「アグロ・イノベーション2021」と関連3展示会を同時開催します。

「アグロ・イノベーション」では農業生産・資材をはじめ、農作業の省力化・軽労化を可能にするスマート農業の最新製品他が展示されます。また、「鳥獣対策・ジビエ利活用展」では農作物等の鳥獣害対策とジビエ利活のための各種提案を、「草刈り・除草ワールド」では草刈機、除草剤などの雑草対策技術を、そして「フローラル・イノベーション」では花の消費拡大や流通促進に繋がる製品・ソリューションが展示されます。

今回の「アグロ・イノベーション」では主催者企画として、「最先端スマート農業」ブース（企画協力：株式会社MOGITATE、NPO法人ロボットビジネス支援機構）を開催し、今後全国で展開が期待されるロボット・AI・IoT最新技術・サービスを活用した“新しい農業”の形を提案いたします。また、「青果物流通標準化に向けた取組について」（情報提供：農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部食品流通課）、「SIPスマート物流サービスの概要」（情報提供：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所「SIPスマート物流サービス」管理法人）と題したパネル展示も開催し、社会インフラとして欠かせない「物流」について、青果物流通の観点から情報提供します。

さらに、「フローラル・イノベーション」会場内では、「第2回プロダクトアイデア大賞～Z世代への花提案～」と題したコンテスト・入選商品の展示・プレゼンを主催者企画として実施します。

いずれの展示・企画も関連する28セッション、34の主催者講演会・セミナー（全て参加無料／事前登録制）と連動して来場者に有益な情報提供を行います。

<開催概要> 公式サイト <https://jma-agro.com/>（アグロ・イノベーション2021）

名称	アグロ・イノベーション2021／鳥獣対策・ジビエ利活用展2021 草刈り・除草ワールド2021／フローラル・イノベーション2021
主催	一般社団法人日本能率協会（共催：一般社団法人日本フローラルマーケティング協会[フローラル・イノベーション2021]、特別協力：一般社団法人日本ジビエ振興協会[鳥獣対策・ジビエ利活用展2021]、特定非営利活動法人緑地雑草科学研究所[草刈り・除草ワールド2021]）
開催期間	2021年11月24日(水)～26日(金) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト 青海展示棟 A・Bホール
展示規模	77社／131ブース（上記4展示会の総展示規模）（11月15日現在）
同時開催	アグリビジネス創出フェア（主催：農林水産省）、メンテナンス・レジリエンスTOKYO 2021、第14回生産システム見える化展、第5回自動化・省人化ロボット展、第7回 国際ドローン展
入場料	無料 ※ただし、招待状およびWeb事前登録証持参が必要（同時開催展示会は相互入場可能）

～注目の出展製品（一部抜粋）～

【中西製作所】 ブース No.B9-01 (Bホール)

アグリバージョン2021

<出展製品>

過熱水蒸気調理機 SV ロースター、リキッドフリーザー凍眠ミニ、液体充填機、真空包装機、野菜乾燥機、オゾン水スプレー



過熱水蒸気調理器 SV ロースター

煮る・焼く・蒸す、そして殺菌まで1台でこなす過熱水蒸気調理器「SV ロースター」を中心に、様々な機器を展示致します。過熱水蒸気はうまみ成分の保持、栄養素流出を防ぐなど食品の加工に様々なメリットを与えることが実証されています。本展示会の会期初日は酪農学園大学の阿部茂教授を当社ブースに招き、産学連携で研究してきた過熱水蒸気が食品加工に付与するメリットについて、確かなデータを元にしたセミナーを行います。会期2日目以降は、過熱水蒸気について研究する酪農学園大学の学生がブース内セミナーに登壇致します。また今回はSV ロースターだけではなく様々な機器を展示し、それぞれが6次産業化にどのように役立つのか簡単にわかるブース内セミナーを適宜開催致します。

【マツボー】 ブース No.B8-04 (Bホール)

アグリバージョン2021

<出展製品>

- Ammerlaan(オランダ)植物工場 (植物工場先進国のオランダより最先端技術を駆使した商品)
- ULMA(スペイン)植物工場 (世界最大の全天候型ビニールハウスを誇るスペインの優れた廉価版ハウス)
- オスラム LED (ドイツ) (世界2大照明器具メーカーオスラムのLED)
- Innergy(スペイン) (バイオマス発電プラントでは、バイオマスより温水、発電更に排ガスよりCO2を植物工場に提供)



バイオマスボイラーからの熱電供給プラント建設、植物工場の建設を結び付ける『SDGs 植物工場構想』を実現するべく、熱電供給・CO2供給のトリジェネレーション農業への取り組みとして、オランダ Ammerlaan 社、スペイン ULMA 社のグリーンハウス導入を開始。Ammerlaan 社グリーンハウスは、ガラス温室で気密性に優れ、全世界の天候に適した栽培設備を提供。ULMA 社グリーンハウスは、寒冷地を除く地域向け廉価版ビニール製ハウスを提供しています。

【Hitec Multiplex Japan,inc.】 ブース No.A5-09 (Aホール) 鳥獣対策・ジビエ利活用展 2021

<出展製品>

- 固定翼型マッピングドローン「XENO-FX (ゼノ-エフェックス)」
- 多用途プロフェッショナルマルチコプター「ENDURANCE (エンデュランス)」
- VTOL 型ドローン「TRINITY F90+ (トリニティ F90+)」ほか



固定翼型マッピングドローン「XENO-FX (ゼノ-エフェックス)」

● 固定翼マッピングドローンはマルチコプター型ドローンに比べ高速飛行 (最大速度 72km/h) で長時間飛行 (飛行時間約 60 分) が可能なので広範囲のエリア撮影を1フライトで完了します。また正確に遠方を撮影できるので離れた場所からの離着陸も可能です。

- 運搬時は折り畳みウイングでコンパクトに収納ケースに入り場所を取りません。
- プロペラは手投げ後に回転開始なので怪我の危険性がなく安全です。
- 機体操縦用の送信機で緊急時の障害物を手動操縦で避ける事ができます。

【XENO-FX の主な運用】

【植生解析】圃場を撮影することで農作物の植生状態を確認可能。広域でのスマート農業やゴルフ場での芝管理に役立ちます。

【鳥獣駆除】上空から駆除音を発信し、鳥やイノシシなどを追い払います。広範囲に渡って行えるので効率が良いです。

【河川災害等の調査】河川に沿って飛行、撮影して現地の状況を確認できます。

【小泉製麻】 ブース No.A8-16 (A ホール)

草刈り・除草ワールド 2021



泡状温水機器 (Foamstream)

<出展製品>

- 泡状温水機器 (Foamstream)
- 防草シート等の除草関連資材



防草シートの使用例

雑草維持管理目的の泡状温水機器の実績報告と共に、本工法を前処理工という位置づけにし、その他資材による、恒久的な総合管理方法を提供します。又、昨今の地球環境やSDGsを意識した資材も展示致します。小泉製麻のコンセプトは「未来に引き継げる環境作り」です。

【キャニコム】 ブース No.A8-18 (A ホール)

草刈り・除草ワールド 2021

<出展製品>

- 多目的造林機械
- ラジコン式草刈機
- 自律走行草刈機

■ 多目的造林機械

林業の中でも機械化が進んでいない、造林作業に特化した新たな分野の作業機です。アタッチメントを変えて下刈り・伐根・残材集材・苗箱運搬も可能。鉄塔管理やゴルフ場の伐根作業にもご使用いただけます。

■ ラジコン式草刈機

40度前後の急傾斜地を離れた場所からでも操作ができる、遠隔式の草刈機です。要望の多い法面草刈作業の軽労化に。

■ 自律走行草刈機

「みちびき」による CLAS 信号を使用することで高精度の位置情報を確保した自律走行が可能な草刈機です。また自動走行だけでなく、乗用式、ラジコン式の草刈機としても作業が可能。1台で3つの機能を、作業場所に合わせて使用できる草刈機です。

【ハナノ presented by HibiyaKadan Group】 ブース No.A3-08 (A ホール)

フローラル・イノベーション 2021



<出展製品>

サブスクリプションアプリ「ハナノヒ」
デイリーフラワー「ハナノヒマーケット」
はなの自動販売機



「花を楽しむ文化をもっと世の中に広げたい！」
「花を日々の暮らしに気軽に取り入れ、素晴らしい花体験をもっと多くのお客様に提供したい！」
日比谷花壇グループでは、「ハナノヒ」の名のもとにホームユース需要の拡大に取り組んでまいります。
気軽に花を飾る、贈る文化を創出するため様々な切り口からお客様へ花のある暮らしをご提案いたします。
今回の展示会では、サブスクリプションアプリ「ハナノヒ」、デイリーフラワー「ハナノヒマーケット」、
はなの自動販売機を出展します。

2021年11月15日現在の情報です。その他出展企業および出展製品の詳細は、
公式ホームページ「出展者一覧・検索」(Webガイド)に掲載しています。

<https://jma-agro.com/>

主催者企画コーナーご紹介（抜粋）

◆アグロ・イノベーション2021主催者企画

① “「最先端スマート農業」ブース”

【会場：Bホール】

（企画協力：株式会社MOGITATe、特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構）

今後、全国での展開が期待される各種ロボット・AI・IoT最新技術・サービスを活用した“新しい農業”の形を15社・団体によるブース展示により、ご提案いたします。

参加企業：アイ・イート、アドイン研究所、笑農和、エボレボ、大坂林業、ソーケン、ダイヤ工業、タキゲン製造、Doog（ドーフ）、Happy Quality、プロダクトソリューションエンジニアリング、MOGITATe／『納屋ラボ』、有人宇宙システム、ロボットビジネス支援機構



↑ Doog の農業用クローラーロボット『メカロン』 ↑ 笑農和の水田向け遠隔水位調整自動化システム『paditch』

関連講演会：11月24日(水) 15:00～16:30（主催者講演会・出展者セミナー会場A）

1. 『スマート農業の最新動向と今後の方向性』株式会社 MOGITATe 代表取締役社長 北河 博康氏
2. 『笑農和（えのわ）が提供するスマート農業のカタチ』株式会社笑農和 代表取締役 下村 豪徳氏
3. 『「大きく育てるために、小さく始める」スマート農業の普及・促進で地方創生を実現へ』
ビジネスソリューションパートナーズ合同会社 代表社員・CEO 佐々木 剛氏

② “青果物流標準化に向けた取組について” パネル展示 【会場：Aホール】

（パネル情報提供：農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部食品流通課）

物流を取り巻く環境は労働力不足が顕在化し、2024年度以降、働き方改革関連法に基づき、時間外労働時間の上限規制が罰則付きで適用されることから、更に拍車がかかることが予想されます。物流の効率化を図るために一定の効果を確認した「パレット普及」やそれを支える「パレット循環利用体制の構築」が急務であり、こうしたパレット輸送の効果を高めるため、段ボール等の外装サイズの統一や自動化・データ化などを前提とした物流標準化の取組みを推進することが必要です。こうした背景から先行事例である加工食品分野における物流標準化アクションプランを参考に、青果物分野における標準化を実現するため、産地、市場、物流事業者との関係者が集い、議論・検討の内容をパネル展示としてご披露いたします。

③ “SIPスマート物流サービスの概要” パネル展示 【会場：Aホール】

（パネル情報提供：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所「SIPスマート物流サービス」管理法人）

内閣府が主導し、進められている「SIPスマート物流サービス」の取組みにスポットを当てたパネル展示コーナーです。「社会インフラ」である物流の昨今の様々な課題は、農産品・花きの流通にも大きな影響を与えるため、その解決に向けた効率化・高付加価値化を実現するサプライチェーンをまたいだ「情報連携」の実現が必要となります。そのために、どのようなデータが必要とされ、どのような標準化・共通規格化が必要か、そして、どのようにすれば、誰でも簡単に、正確にデータ蓄積ができるのかの一例をパネル展示に示します。

②・③の関連講演会：11月25日(木) 12:00～13:00（主催者講演会・出展者セミナー会場A）

1. 『生鮮食料品等分野の流通合理化施策一標準化とデジタル化』
農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課 課長 武田 裕紀氏
2. 『フィジカルインターネットによる野菜流通革命』上智大学 名誉教授 荒木 勉氏

◆フローラル・イノベーション2021主催者企画

“第2回プロダクトアイデア大賞～Z世代への花提案～”【会場:Aホール】 (企画協力：一般社団法人日本フローラルマーケティング協会)

1990年代後半～2000年代生まれの「Z世代」はむこう30年の消費の中心世代となります。それ以前の世代とは違う価値観を持つ、この「デジタルネイティブ」世代に「花を買ってみよう!」「これなら欲しい!」と思ってもらえる「花」の商品提案のコンテスト形式で開催いたします。会期初日(11月24日[水]午前)には、一次審査を通過した作品の展示と審査員による審査を行い、大賞を決定。授与式を行います。



◀ 昨年の審査・授賞式の様子

～主催者講演会・出展者セミナーピックアップ～

聴講無料・事前登録制

■アグロ・イノベーション2021■

11月24日(水) 11:00～11:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場A)

『みどりの食料システム戦略とスマート農業』

農林水産省 農林水産技術会議事務局 事務局長 青山 豊久氏

11月24日(水) 12:00～12:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場A)

『植物工場の将来展望と技術開発』

千葉大学 大学院 園芸学研究科 環境調節工学研究室 教授 後藤 英司氏

11月24日(水) 14:00～14:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場A)

『農家が主役!生産者と消費者を近づける『農カード』～若手農家の取組事例～』
おがわ農園 小川 浩康氏

11月25日(木) 11:00～11:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場B)

『タマゴの魅力を伝え続ける/タマゴ科学研究会～科学的・中立的を貫いて～』
キューピー株式会社 研究開発本部 主幹研究員 田中 敏治氏

11月25日(木) 12:00～13:00 (主催者講演会・出展者セミナー会場A)

①『生鮮食料品等分野の流通合理化施策—標準化とデジタル化』

農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課 課長 武田 裕紀氏

②『フィジカルインターネットによる野菜流通革命』

上智大学 名誉教授 荒木 勉氏

③両氏による対談

■鳥獣対策・ジビエ利活用展2021■

11月25日(木) 11:00~11:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場 A)

『鳥獣被害対策・ジビエ利活用のための取組』

農林水産省 農村振興局 農村政策部

鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室長 仙波 徹氏

■草刈り・除草ワールド2021■

11月25日(木) 12:00~12:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場 B)

『生活圏の雑草は大問題：管理者も市民も知らない本当のリスク』

マイクロフォレストリサーチ株式会社 代表取締役 伊藤 幹二氏

11月25日(木) 14:00~14:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場 B)

『雑草の猛威の前に草刈りは気休め—対抗できるのは叩くべき地下部を知った戦略のみ』

マイクロフォレストリサーチ株式会社 取締役

京都大学 名誉教授

伊藤 操子氏

■フローラル・イノベーション2021■

11月26日(金) 11:00~11:40 (主催者講演会・出展者セミナー会場 B)

『これからの花物流』 三和陸運株式会社 代表取締役社長 井上 博保氏

2021年11月15日現在の情報です。その他の主催者講演会・出展者セミナーの詳細は、
公式ホームページ「セミナープログラム」に掲載しています。

<https://jma-agro.com/seminar/>

会場構成



【展示会の内容に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 アグロ・イノベーション事務局 担当：根本、永井
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03-3434-3453/E-mail: ai-e@jma.or.jp

【取材に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報・マーケティング室 担当：綿貫
TEL:03-3434-8620または090-6510-9161 E-mail:jmapr@jma.or.jp

【取材・プレス登録方法について】

取材希望の方は、展示会会期前までに下記フォームにてご登録ください。

<https://www.jma.or.jp/press/index.html>